

第 1 回 草津市立クリーンセンター更新整備総合評価技術審査会議事録

開催日時 : 平成 26 年 3 月 24 日 (月)

9 : 30 ~ 11 : 00

開催場所 : 行政委員会室 (草津市役所 4 階)

傍聴者 : 2 名

1 開会 (挨拶)

草津市 副市長 平沢克俊 挨拶

2 委員紹介 (五十音順)

占部 武生	龍谷大学理工学部教授
金谷 健	滋賀県立大学環境科学部教授
向井 明	立命館大学客員研究員
吉原 福全	立命館大学理工学部教授

3 審査会設置にかかる設置条例及び運営規則について

4 委員長・副委員長の選出について

委員長	吉原 福全	立命館大学理工学部教授
副委員長	金谷 健	滋賀県立大学環境科学部教授

5 審査会、資料及び議事録の公開・非公開について

A 委員 : 事前に審議会ごとの公開・非公開を決定し、市のホームページ等で示しておいた方がよいのではないか。

事務局 : 審査会は全 6 回を予定しており、第 1 ~ 3 回は公開、第 4 ~ 6 回は非公開とする予定。ただし、議題によっては非公開とする場合もある。

事務局 : 審査会の議事録については、原則公開とする。ただし、公開されることによって利益を損なわれる等の場合があるため、詳細なものではなく要旨を公開する。

6 議事

議題 1 審査会の運営について

委員長 : 事務局案とする。

議題 2 クリーンセンター更新整備事業について

委員長 : 現在は法規制にはなっていないが、排ガス中の水銀の自主基準として $0.05\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ を設定すべきではないか。あわせて、市民にも分別排出を啓発するのがよい。

B 委員 : 東京都などは水銀の連続測定を実施している。通常は超過することはないが、水

銀の連続測定を実施してはどうか。

事務局：検討する。

A委員：隣接する自治体との協議の状況はどうか。また、排ガス規制について考慮することがあるか。

事務局：隣接する自治体の自治会への説明は実施している。特に、地元から排ガス規制等の要望はなかった。

C委員：これは、都市計画審議会にかけたのか。それとも、都市計画決定済みのエリアということか。また、都市計画審議会で見解はあったか。

事務局：都市計画審議会が開催され、都市計画決定の変更について承認されたが、審議会の委員からは、特に意見はなかった。

議題3 事業者選定方法とスケジュールについて

委員長：イニシャルコストだけでなく、ランニングコスト等も評価できるよう、より総合的な判断ができる評価とすることが望ましい。

A委員：1者応札の場合はどうするのか。

事務局：市内部で検討中である。

委員長：入札が不調になった場合、発注仕様書の仕様変更等、手続きの変更があるので、注意が必要である。

A委員：処理方式提言書について、(p17) 評価項目の枠組みがあるが、今回の評価は違うものか、または草津市としてやるべき項目があるのか。

事務局：草津市として総合評価の場合の取り決めはない。処理方式提言書は、処理方式に限定した評価なので、違う項目で評価することになる。

B委員：見積仕様書作成等の表記があるが、どのような状況か。見積仕様書と発注仕様書の違いは何か。

事務局：見積仕様書は、見積図書提出のために作成したもので既に完了している。現在は発注仕様書を作成しており最終的に発注仕様書で事業を実施していく。

委員長：審議会への資料提出は早めをお願いしたい。現在、見積書の査定をしていると思うが、同規模ではどのような状況かを調査し、できるだけ正確な情報収集に努めること。

7 その他

C委員：メーカーから提出された図書等は返却するのか。

事務局：返却予定はないが、検討する。

委員長：議事録の確認、承認はどのように行う予定か。

事務局：概ね1ヶ月以内で公表する必要があるため、メール等で各委員に確認していただき、そのうえで、概ね1ヶ月以内に公表をしていきたいと考えている。なお、議事録の発言者はA委員というような表記とする。

委員長：次回審査会は、5月2日午前9:30～の予定。